

国語科（2年）シラバス

☆ 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力および言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てます。

☆ 第2学年の到達目標

相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てます。

経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てます。

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てます。

☆ 学習の予定(全280時間内書写30時間)	
月	学習すること
4	のはらのシーソー おがわのはる たけのこぐん 字を書きしせい かたかなのれんしゅう
5	丸、点、かぎをつかおう 教えてあげる、たからもの 手紙で知らせよう かたかなで書こう 何の形から できたのかな？
6	たんぼぼ 雨の日のおさんぼ かん字の書き方にきをつけよう 画の長さ 画の方こう
7	まよい犬をさがせ ニャーゴ じゅんじょを考えて 文字の中心
9	「おもちゃまつり」へようこそ 糸で生きる虫たち 楽しかったことを つたえよう
10	名前を見てちょうだい かんじたことを かたかなのひょう
11	ビーバーの大工事 組み合わせたことばをつかおう 文字の形 ひつじゅん
12	わたしの見学ノート 組になることばをあつめよう 画のつき方 画の交わり方
1	せかいのかくれんぼ 主語とじゅつ語に気をつけよう 書きぞめをしよう
2	かさこじぞう おくりがなに気をつけよう 画の間かく
3	「きせつの思い出ブック」を作ろう あしたも友だち 夕やけ小やけ かん字の書き方 しょうじょうを書こう

☆ 評価について

国語科では次の5つの観点で評価します。

- ① 国語への関心・意欲・態度
「国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。」
→授業での様子、ノート、ワークシート等
- ② 話す・聞く能力
「相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。」
→授業での様子、ノート、ワークシート等
- ③ 書く能力
「経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。」
→授業での様子、作文、日記ノート、ワークシート、単元テスト（表現）等
- ④ 読む能力
「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。」
→授業での様子、単元テスト（理解）、ワークシート、音読カード等
- ⑤ 言語についての知識・理解・技能
「音声、文字、語句、文や文章言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。」
→単元テスト（言語）、漢字テスト、漢字学習ノート等